

中高生南極北極オープンフォーラム

Polar Open Forum for Junior and High School Students

中高生南極北極オープンフォーラム 渡邊研太郎 [1]; 伊藤 一 [2]; 金尾 政紀 [2]; 富川 喜弘 [2]; 橋田 元 [2]; 工藤 栄 [2]; 菊池 雅行 [2]; 加藤 明子 [2]

Kentaro Watanabe Polar Open Forum for Junior and High School Students[1]; hajime ito[2]; Masaki Kanao[2]; Yoshihiro Tomikawa[2]; Gen Hashida[2]; Sakae Kudoh[2]; Masayuki Kikuchi[2]; Akiko Kato[2]

[1] -: [2] 極地研

[1] -: [2] NIPR

<http://polaris.nipr.ac.jp/̃ipy/openf07/>

我が国の南極観測が開始された国際地球観測年（1957-1958）から半世紀を経た現在、国際極年 2007-2008 が世界中で進行中である。国際極年を機会に、次代を担う中学生・高校生が極地を通じて地球や環境の理解を深め、理科・環境教育の一翼を担うことを目的に、日本学術会議地球惑星科学委員会と国立極地研究所の主催により「中高生南極北極オープンフォーラム」が2004年度から開催されている。2007年度の第4回では、中高校生から極地に関する研究や実験、技術向上等の提案を募集し、審査会を経た優秀な提案に対して、提案内容の発表と表彰式を12月16日に国立極地研究所で開催した。応募総数35件のうち、口頭15件（優秀賞7件、特別賞8件）、ポスター10件の発表があり、入賞した中高生、引率の教員、家族など約60名と、来賓、一般参加者、極地研職員、延べ約110名が参加した。最優秀提案等は、2007年11月に出発した第49次南極地域観測隊に南極現地での実験を委託した。昭和基地と提案校とをテレビ会議システムで結ぶことで、実験の様子を生徒に直接報告する。